

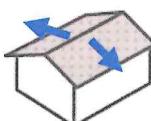
素人のための家の話

まごひち瓦版

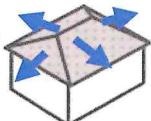
ライフスタイルに関する情報をもっと知りたい貴方にお届けする地元企業発行のかわら版です

コロナウイルス感染症は予防接種に頼らざるを得ない状況ながら、徐々に希望が見えてきましたね。ですが外出・外食を控えなければならぬ昨今、お出掛けスポットのご案内も記事にしづらくネタに事欠くまごひち編集部です。なので今回は、屋根についてド素人のための家のあれこれをお紹介したいと思います。

屋根の形状

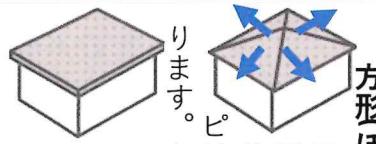


寄棟屋根



切り妻屋根 屋根面が2面でシンプルで施工がしやすく最も普及している屋根の形。木造住宅ではとても多いですが、和洋どちらにも採用されています。切り妻と比較すると屋根の総面積が同じで形状です。切り妻と比較すると屋根の総面積が同じで形状です。常によく見かける造り。こちらも非常によく見かけます。強くなるため風圧に対して強

切り妻屋根

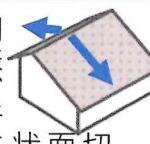


方形ほっさり

正方形の建物の屋根を寄棟にすると図のようになります。ピラミッド型になります。お寺に多い。

陸屋根

屋根に平面を持たせた平らな屋根です。



片流れ屋根

切り妻屋根の片面を短くした形です。片流れの向きを変え、頂点の位置をずらして合わせた様な形状です。洋風住宅によく見られます。片流れ屋根やパネル

太陽光発電パネルを多く設置できる状で近年のハウスメイカーカーの住宅に大変多いです。暴風に弱く雨漏りやすいという難点も。

片流れ屋根



鎌しきころ屋根

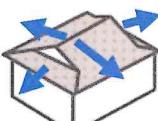
形状は入母屋に似ていますが、切妻部分と寄棟部分の角度が違うのが特徴。一般住宅ではあまり見られません。がこの形状です。

京都御所の紫宸殿などがこの形状です。

ログハウスや牧場・農場に多い。途中で勾配が変わる切妻屋根。駒形切妻屋根・腰折れ屋根とも呼ばれる。

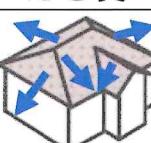
ギャンブレル屋根

かまぼこ型の屋根です。R屋根とも言います。一般住宅にはあまり見られません。



入母屋屋根

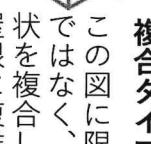
寄棟の上に切り妻を乗せたような形の屋根。切妻部分と寄棟部分が連続した面を作っています。一般的に妻屋根は寄棟屋根より尊ばれ、その組み合わされた入母屋造りは最も格式が高いとされています。



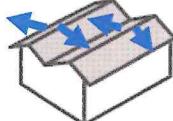
バタフライ屋根

蝶が羽ばたいているようなV字型の屋根です。内勾配の為、水が溜まりやすいので点検とメンテナンスが欠かせません。

複合タイプの屋根



積雪地帯では落雪を防ぐために採用されることが多いようです。内勾配の為、水が溜まりやすいので点検とメンテナンスが欠かせません。



M型屋根

これらの屋根は街中で比較的見栄えや施工にかかる費用だけではなく、それぞれの形状特性など様々な要件を考慮するに伴う弱点や長期的なメンテナンスにかかる費用、地域の気候特性など様々な要件を考慮するが望ましく、特に注文住宅では設計段階で十二分に検討されていることがあります。

屋根形状を決める要件

見栄えや施工にかかる費用だけでなく、それぞれの形状特性など様々な要件を考慮するが望ましく、特に注文住宅では設計段階で十二分に検討され豪華で複雑な形状ほど雨漏りの危険性の高い箇所が多く、防水対策など丁寧な工事が必要となることから、施工費が高くなり、メンテナンスも難しくなるのは家族の暮らしを守る屋根ですから、形状ごとの違いを知ることとても大切です。

名前通りで横から見ると鋸の歯部分の形状をしています。垂直ケーブルを設置することが多く、工場で多用されています。



鋸屋根 (のこぎりやね)